

主格の関係代名詞 ②

【1】 the man + He came here yesterday で「昨日ここに来た男の人」という意味の英語にする際、説明される単語である **man** を「先行詞」といいます。先行詞が人間で関係代名詞に変わる代名詞が主格の場合、関係代名詞に **who** を使い the man who came here yesterday 「昨日ここに来た男の人」とすることが出来ます。また、a car + It runs fast. で「速く走る車」にしたい場合のように、先行詞が物で関係代名詞に変わる代名詞が主格の場合、関係代名詞に **which** を使い、a car which runs fast 「速く走る車」とすることが出来ます。

〔問題〕 次の英文を日本語に直しなさい。

- ① Look at the girl who is swimming there.
- ② Taro is a boy who can speak English very well.
- ③ This is a bird which can speak Japanese.
- ④ This is a machine which is very useful.
- ⑤ Can you see the plane which is flying over that mountain?
- ⑥ I want a knife which cuts well. (この場合の cut は「切る」ではなく「切れる」と訳します。)

【2】 後ろの文で下線部の単語を説明するように2文をつなぎ、更にそれを日本語に訳しなさい。但し、関係代名詞に **that** を使わないように。

- ① Do you know the boy? He is riding a bike there.
- ② I want a house. It is very large.
- ③ I want a friend. He is good at tennis.
(be good at ~ 「～が得意」)

主格の関係代名詞 ②

【1】

- ① そこで泳いでいる女の子を見なさい。
- ② 太郎は とても上手に英語が話せる男の子です。
- ③ これは 日本語を話せる鳥です。
- ④ これは とても役に立つ機械です。
- ⑤ あなたは あの山の上を飛んでいる飛行機が見えますか。
- ⑥ 私は よく切れるナイフが欲しい。

【2】

- ① Do you know the boy who is riding a bike there? あなたは そこで自転車に乗っている少年を知っていますか。
- ② I want a house which is very large. 私は とても大きい家が欲しい。
- ③ I want a friend who is good at tennis. 私は テニスが得意な友達が欲しい。